



【プラスチック製容器】

食料品や日用品などの商品を買った際に使われているプラスチック製の入れ物（容器）、包装です。

●主なもの

- ・食料品のプラスチックのカップ類、容器
- ・刺身や総菜などを入れる色付きのトレイ
- ・お菓子を入れる袋、レジ袋
- ・シャンプーや洗剤を入れるボトルなど



・回収されたプラスチック製容器は、プラスチック製品や化学製品の原料としてリサイクルされます。



【ペットボトル】

石油から作られた入れ物で、主に飲み物やお酒、しょう油、調味料などの容器です。

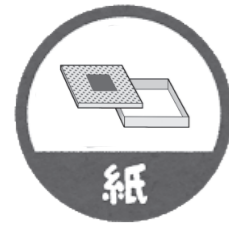
●分別用法

キャップとラベル
⇒プラスチック製容器

ペットボトル本体
⇒ペットボトル



・回収されたペットボトルは、ペットボトルの原料や卵のパック、トレイ、衣類などにリサイクルされます。



【紙製容器】

食料品や日用品などの商品を買った際に、使われている紙製の入れ物（容器：カップ麺や缶詰などの紙ラベル、市販の菓などの紙箱）です。



・回収された紙製容器は、製紙原料（板紙やダンボールなど）や、固形燃料、家畜用の敷きわらなどとしてリサイクルされます。

【雑がみ】

新聞や雑誌、ダンボール、牛乳パック、紙製容器以外の資源にできる紙類（コピー用紙、チラシ、トイレットペーパーの芯）などです。

・回収された雑がみは、紙製品（ダンボールなど）にリサイクルされます。

市では、皆さんが分別した資源ごみをそれぞれ再利用できる工場などに運んでいます。地球環境のため、正しい分別にご協力ください。



◎ごみの分別に関する詳細は、留萌南部衛生組合ホームページ (<https://www.rumoi-nanbu.jp/>) をご覧ください。

留萌南部衛生組合

検索



「リサイクル」で資源を有効利用！

市では、持続可能な社会を目指し、ごみの減量化や資源の有効利用を推進しています。

留 市・環境保全課 TEL 42-1806

ごみの減量化には「リサイクル」が最適

▼リサイクルは、ごみの減量化や資源の有効利用に大きな役割を果たします。

人が何かを作るためには、資源が必要です。このまま資源を取り出し続けた場合、地球の資源は枯渇してしまう恐れがあります。限りがある資源を無駄にせず、環境保全していくためには、ごみの分別と資源の有効活用が不可欠です。



【アルミ缶】

炭酸飲料やビールなどの炭酸入りの飲み物の缶をはじめ、お茶やジュースの飲み物の缶、食品などの缶詰の缶です。



・回収されたアルミ缶のおよそ70%は、再びアルミ缶となり、残りは自動車部品などに再利用されます。

【スチール缶】

缶ジュースや缶コーヒー、缶詰などです。



・回収されたスチール缶は、鉄の原料となり、建物や橋などの鉄筋・鉄骨に再利用されます。



【びん】

びんは、何度も使うことが可能です。ガラスびんには、「リターナブルびん」「ワンウェイびん」の2種類があります。



- ・リターナブルびん⇒何度も、繰り返し使われるびんを言います。
(主なもの……お酒やビール、焼酎、サイダー、牛乳などのびん)
- ・ワンウェイびん⇒カレット(細かく粉砕)して、繰り返し使われるびんを言います。
(主なもの……お酒や調味料、飲料(ドリンク)などのびん)
- ・回収されたガラスびんは、リターナブルとワンウェイに分別され、それぞれ再利用されます。